

高度な通信機能を備えた次世代の「マルチアクセサリースュー」に刷新ミラーレスカメラ「EOS R3」などに対応するアクセサリ4機種を発売

キヤノンは、デジタルカメラ用アクセサリの新製品4機種を2021年11月下旬より順次発売します。「EOS R3」(2021年11月下旬発売予定)以降に発売を予定しているレンズ交換式デジタルカメラでは、高度な通信機能やアクセサリへの電源供給を備えた次世代の「マルチアクセサリースュー」を採用することで、アクセサリの高機能化や小型化などを実現し、撮影時の利便性を高めます。



指向性ステレオマイクロホン DM-E10 スピードライトトランスミッター ST-E10 マルチアクセサリースューアダプター AD-E1 スマートフォンリンクアダプター AD-P1

■ カメラからの電源供給が可能な“指向性ステレオマイクロホン DM-E10”

「マルチアクセサリースュー」を介して、カメラから電源供給でき、マイク電池残量を気にせず、動画撮影やライブ配信が可能です。また、用途に合わせた收音範囲の異なる3種類の録音方法が選べ、外部電磁波の影響を受けにくいデジタル音声出力に対応することで、ノイズを抑制します。

■ 外部ストロボ用の小型・軽量の“スピードライトトランスミッター ST-E10”

カメラからの電源供給により電池が不要なため、小型・軽量ボディを実現しています。障害物や外光の影響を受けにくい電波通信を採用しており、最大約30m先に離れた外部ストロボを5グループ、15台まで遠隔制御するストロボ撮影が可能です。撮影の設定は、カメラやスマホ^{※1}から変更可能です。

■ 従来のアクセサリを使用可能とする“マルチアクセサリースューアダプター AD-E1”

従来のアクセサリースューに対応したストロボなどの7機種^{※2}のアクセサリを、防じん・防滴性能^{※3}を維持したまま、「マルチアクセサリースュー」を搭載したカメラに使用することが可能です。

■ USB接続による高速通信が可能な“スマートフォンリンクアダプター AD-P1”

「マルチアクセサリースュー」採用のカメラにスマホ^{※4}を固定し、カメラとスマホを専用ケーブルでつなげるため、ホールディングなどのカメラの操作性向上に加え、USB接続による高速通信が可能です。

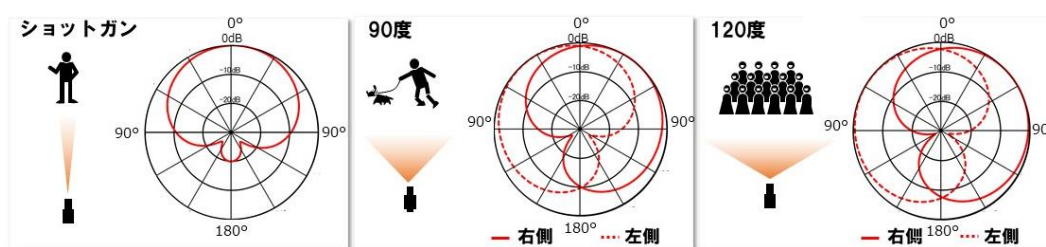
製品名	希望小売価格 (税込)	発売日
指向性ステレオマイクロホン DM-E10	3万7,500円	2022年3月中旬
スピードライトトランスミッター ST-E10	1万6,500円	2021年11月下旬
マルチアクセサリースューアダプター AD-E1	5,380円	2021年11月下旬
スマートフォンリンクアダプター AD-P1	8,780円	2022年2月下旬

※1 キヤノン専用アプリケーション「Camera Connect」のインストールまたは最新版へのアップデートが必要。接続には事前にカメラとスマホをペアリングしておく必要があります。
 ※2 2ページ3の※に記載。
 ※3 防じん・防滴に配慮した構造になっていますが、砂じんや水滴などの侵入を完全に防ぐことはできません。
 ※4 幅が60~80mmのAndroidスマホを取り付けることができます。ただし、形状やボタン配置などによっては、取り付けできないことがあります。折り畳み式のスマホは取り付けることができません。iOSスマホは使用できません。USBホスト機能がないスマホは使用することができません。なお、USBホスト機能についてはスマホメーカーにお問い合わせください。

<主な特長>

1. カメラからの電源供給が可能な“指向性ステレオマイクロホン DM-E1D”

- ・「マルチアクセサリシュー」を介して、カメラから電源を供給できるため、電池不要。動画撮影やライブ配信に対応。カメラのマイク端子につなぐケーブルが不要で、ハンドリングが容易。
- ・インタビューなどに最適なショットガン、日常的なシーンで活用できる90度、広範囲の收音に適した120度の3種類の指向性の録音が可能。
- ・外部電磁波の影響を受けにくい「マルチアクセサリシュー」をインターフェースとしたデジタル通信が可能のため、ノイズを抑制した音声データをカメラに出力可能。
- ・マイクのメニューボタンを押すことで、カメラ上のメニュー画面をすぐに開くことができ、マイクの設定変更や確認が容易。



3種類の指向性のイメージ

2. 外部ストロボ用の小型・軽量の“スピードライトトランスミッター ST-E10”

- ・カメラから電源を供給できるため、電池不要。
- ・従来機種「スピードライトトランスミッターST-E3-RT (Ver.2)」(2021年5月発売)の約67.4(幅)×77.4mm(奥行き)×61.5(高さ)、質量110gに比べ、約45.5(幅)×53.6mm(奥行き)×37.8(高さ)、質量48gと小型・軽量のボディーを実現。
- ・撮影に関する設定は、カメラやスマホから変更が可能。
- ・障害物や外光の影響を受けにくい電波通信を採用しており、最大約30m先に離れた外部ストロボを5グループ、15台まで遠隔制御するストロボ撮影が可能。

3. 従来のアクセサリを使用可能とする“マルチアクセサリシューアダプター AD-E1”

- ・従来のアクセサリシューに対応した7機種[※]のアクセサリを、防じん・防滴性能を維持したまま、「マルチアクセサリシュー」を搭載したカメラに使用可能。

※ 「スピードライト EL-1」(2021年2月発売)、「スピードライト 600EX II-RT」(2016年6月発売)、「スピードライト 600EX RT」(2012年3月発売)、「スピードライト 580EX II」(2007年4月発売)、「スピードライトトランスミッター ST-E3-RT」(2012年3月発売)、「スピードライトトランスミッター ST-E3-RT(Ver.2)」(2021年5月発売)、「オフカメラシューコード OC-E3」(2010年8月発売)の7機種。防じん・防滴性能を備えていない従来のアクセサリシューに装着可能なアクセサリは、直接「EOS R3」に装着できます。

4. USB接続による高速通信が可能な“スマートフォンリンクアダプター AD-P1”

- ・「マルチアクセサリシュー」を搭載したカメラにスマホを固定し、カメラとスマホを専用ケーブルでつなげるため、ホールディングなどのカメラの操作性が向上。USB接続による高速通信が可能。
- ・画像転送用モバイルアプリ「Mobile File Transfer[※]」により、スマホの5G回線を通じてスムーズで高速な画像転送が可能。

※ Mobile File Transfer Ver1.3.0以降で対応。Mobile File Transferは有償のモバイルアプリケーションです。Ver1.3.0は試用バージョンとして無償でお使いいただけますが、今後のバージョンでは有償となる予定です。

<主な製品仕様>

製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

* AndroidはGoogle LLCの商標です。

* IOSは、米国およびその他の国々におけるCisco社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。